

# 森林環境税は森を救えるか

～第20回日本の森と自然を守る全国集会より～

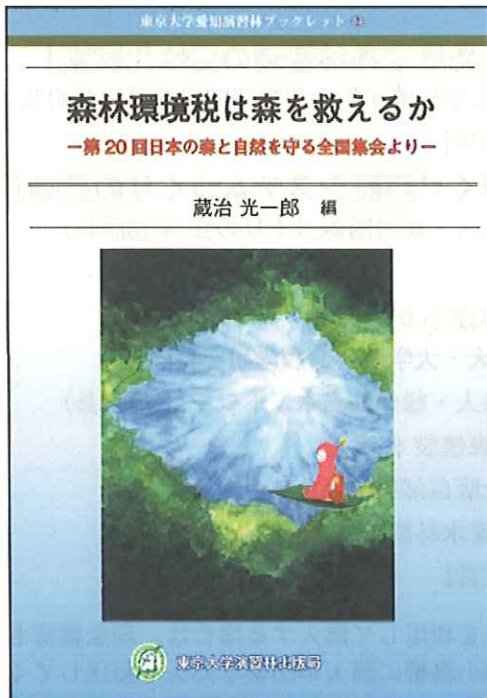
蔵治 光一郎 編 (A5判 220ページ)

2008年8月発売

定価：1,500円(税込み)

●森林環境税とは、森林の整備、保全等に用途を限定した財源として各県が創設した新たな税の制度の総称です。しかし現場の実態と問題の本質を明らかにせず、県民から広く集めた税金を投入しても、問題の本質的な解決につながるとは限らず、せつかくの税金が無駄になってしまうかもしれません。このような問題意識のもと、東京大学愛知演習林は、2007年12月8～10日に「人工林、里山林、都市の緑－森と緑づくりのための行政、市民、研究者の協働－」をテーマとした「第20回日本の森と自然を守る全国集会」を開催し、森林環境税について議論しました。本書はこれらの議論をとりまとめたものです。日本の森を守ることに高い関心を持っている方々が全国から集まり、白熱した議論を繰り広げています。

.....目次より.....



## 【基調講演】

「豊田市水道水源保全基金と豊田市の森づくり」原田 裕保

「水源林の整備と水源地域との交流、連携について

－福岡市水道水源かん養事業基金の取り組み－ 梶返 恭彦

「かながわ水源環境保全・再生施策における水環境モニタリング」

内山 佳美

「環境税と山・都市の人の繋がり」佐藤 和歌子

## 【パネルディスカッション】

コーディネータ：飯尾 歩

「愛知県の取組み報告 期待されるあいちの森と緑」 絹川 純一郎

パネラー：丹羽 健司・蔵治 光一郎・上杉 毅・佐藤 仁志

## 【第2分科会】「森林環境税を考える」

「森林環境税を考える－環境政策における費用負担と参加－」

藤田 香

「愛知県における森と緑づくりのための取組（税制検討会議の

報告を中心にして）」 服部 重昭

「高知県の森林環境税の到達点と課題」 中川 芳江

\*下記の購入申込書を利用して購入する場合は、現金書留もしくは価格分の定額小為替に購入申込書を添えて郵送してください。銀行振込による支払いを御希望の方は、愛知演習林ホームページをご覧になりお申し込みください。 <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/aichi/index.html> \*

購 入 申 込 書	<b>森林環境税は森を救えるか～第20回日本の森と自然を守る全国集会より～</b>	
	ご注文者 お名前：	ISBN978-4-903321-07-3 C0061 ¥1429E
	ご住所：	
	TEL/FAX：	定価(送料込み)：1,800円【 】冊
	申込先：東京大学 愛知演習林・企画調整係 〒489-0031 愛知県瀬戸市五位塚町11-44 TEL:0561-82-2371 FAX:0561-85-2838 E-mail: aien@uf.a.u-tokyo.ac.jp (担当：澤田)	